

1—国際展

第54回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に日本側主催者として参加しました(コミッショナー:植松由佳、出品作家:束茅)。

2—海外展

主催……企画展:12件(15カ国21都市) 巡回展:114件(67カ国114都市)

助成……海外展:60件(29カ国) 市民青少年美術交流:4件(4カ国)

海外の美術館などとの共催により、以下をはじめとする、さまざまな展覧会を実施しました。

●「新次元 マンガ表現の現在」展(フィリピン、ベトナム)／杉戸洋展: paintings and sketches(シンガポール)／「昭和40年会: We are Boys!」展(ウクライナ、ドイツ)／「田中敦子—アート・オブ・コネクティング」展(スペイン、英国 P.12参照)／平泉写真展「平泉—仏国土(浄土)を現す建築・庭園」(フランス、ベルギー)／北斎展(ドイツ P.12参照)／第26回サウジアラビア伝統と文化の国民祭典(ジャナドリア祭)日本館展示「武道の精神」展(サウジアラビア P.13参照)など

○基金所蔵品による世界巡回展

海外の美術館等との共催で、伝統工芸から日本人形、キャラクター、プロダクトデザイン、写真、現代美術など多種多様な基金巡回展を世界各地で実施しました。特に東日本大震災から1年という節目に、古代からの営みである東北の手仕事の美しさを紹介する「美しい東北の手仕事」、東北にゆかりのある個性豊かな写真家の視点を通して奥深い東北の魅力を紹介する「東北—風土・人・くらし」、震災発生直後から今日までに各地の建築家が展開している活動を紹介する「3.11—東日本大震災の直後、建築家はどうか対応したか」の新たな3つの展覧会セットの世界巡回を開始しました。[24セット114件(67カ国114都市)]

3—造形美術情報交流

国際交流のための基盤強化とネットワークづくり……8件(23カ国)

○日韓キュレーター・ミーティング…日韓の現代美術専門のキュレーター計8名が集い、グローバルな視点から美術のあり方、日韓美術交流の可能性について議論を行いました。

○学芸員交流…米国およびロシアよりキュレーターをそれぞれグループで招へいし、美術館やギャラリー、作家アトリエなど日本の美術現場の視察・訪問や日本の関係者との意見交換を行いました。

クリエイティブな分野/産業に従事する若手クリエイターを日本に招へい……16名(11カ国)

21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS)プログラムの一環として、アーティスト、デザイナーなどを日本に招き、作品制作、地域との交流やネットワーク構築のための機会を提供しました。

4—海外公演

主催……23件(46カ国82都市) 助成(国内公募)……106件

以下をはじめとする海外公演を主催しました。また、海外公演助成プログラム(公募)を通じて、世界各地で行われた日本の舞台芸術の海外公演に助成を行いました。

●第26回サウジアラビア伝統と文化の国民祭典(ジャナドリア祭)日本館イベント参加公演(サウジアラビア)／心を伝える民の謡大和×沖縄民謡 南米公演(チリ、アルゼンチン、ウルグアイ P.13参照)／バルト三国邦楽公演—浅野祥 & アンサンブル(エストニア、ラトビア、リトアニア)／レナード衛藤 ブレンドラムス 東アフリカ公演(タンザニア、マラウイ、エチオピア、ジブチ)／黒森神楽ロシア公演／たいらじょう人形劇パレスチナ巡回公演／林英哲中東公演 TAIKO LEGEND-Heart Beat from Japan(カタール、アラブ首長国連邦、オマーン、バーレーン)／東北民俗芸能と鬼太鼓座 & Musicians 米仏中公演など

パフォーミングアーツ・ジャパン(PAJ)……25件(北米:12件、欧州:13件)

日本の優れた舞台芸術作品を紹介する米国、欧州の文化芸術団体向けの助成プログラム「パフォーミングアーツ・ジャパン(PAJ)」を通じて欧米で行われた舞台芸術公演・共同制作プロジェクトに助成を行いました。

5—舞台芸術情報交流

実施……9件

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場間の情報交流促進を図るため、「国際舞台芸術ミーティング in 横浜2012」や、日本の舞台芸術情報を日本語・英語のバイリンガルで発信するウェブサイト「performingarts.jp」などの事業を実施しました。

6—日本理解促進出版・翻訳

助成……57件(27カ国)

日本語で書かれた優れた図書(人文/社会科学/芸術分野)の外国語への翻訳および外国語で書かれた日本文化紹介図書の出版を支援する公募プログラムを通じ助成を行いました。

『総員玉砕せよ』(カナダ)／『我輩は猫である』(ベトナム)／『こころ』(スロベニア)／『春の雪』(ブルガリア)／『暁の寺』(ルーマニア)など

7—国際図書展

海外開催の国際図書展に共同参加……14件(14カ国14都市)

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のために、社団法人出版文化国際交流会等と共同参加しました。

○第30回リヤド国際ブックフェア

○第63回フランクフルト国際図書展など

8—テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の提供……26件(21カ国)

日本のテレビ番組の海外放映を促進するため番組を提供しました。

- コスタリカ民営SPE LTDA(「すずらん」全156話)
- リトアニア国営LRT(「日本の世界文化遺産」等) など

9—ドキュメンタリー制作助成

映画とテレビ番組の制作費助成……19件(13カ国)

海外における日本理解を促進するため、魚沼市で雪国の生活を描いたドキュメンタリー映画「雪にうもれて」(Under Snow、ドイツ)など日本に関するドキュメンタリー映画とテレビ番組制作に対し助成を行いました。

10—海外日本映画祭

日本映画祭・日本映画上映会……89件(57カ国)

海外の国際映画祭での日本映画上映への助成……76件(29カ国)

活弁・演奏付き無声映画欧州巡回上映(巡回国：イタリア、フランス、ドイツ P.14 参照)、篠田正浩監督特集(メキシコ、アルゼンチン、スペイン)など、日本映画祭や日本映画の上映を在外公館・海外文化機関等と共同開催しました。さらに他団体主催の事業を助成し、上映の機会をつくりました。

11—映像・出版情報交流

- 東日本大震災復興活動・日本の若者像の海外への紹介(LIGHT UP NIPPONドキュメンタリー制作と関連事業)
- 季刊誌『Japanese Book News』(No.68~72)刊行…海外の出版社・翻訳者向けの日本の文芸の情報誌を刊行(P.14 参照)
- 日本映画データベース共同運営…ユニジャパンと共同で日本映画の基本情報をインターネットを通じて海外に提供

12—国際漫画賞・アニメ文化大使事業への協力

海外でマンガの普及啓蒙活動に貢献する新進のマンガ作家を顕彰する「国際漫画賞」(主催：国際漫画賞実行委員会)の最優秀賞受賞者と優秀賞受賞者計4名を日本に招へいするとともに、海外におけるアニメ文化大使(ドラえもん)の外国語字幕付DVDの上映会に協力しました(6カ国6都市)。

13—日本文化紹介

主催……派遣38件(64カ国98都市)、招へい2件(2カ国・14名)

助成……派遣82件(44カ国102都市)

文学、食文化、ロボット、アニメ、浮世絵木版画、建築などさま

ざまな日本の文化の専門家を世界各地に派遣し、講演、デモンストラーション、ワークショップを行いました。また、ロシアの学芸員やブラジルの舞台芸術専門家を招へいしました。

●綿矢りさ(作家 P.15 参照)／篠原久美子(劇作家)／山本彩香(琉球料理専門家 P.5 参照)／石黒浩(アンドロイド研究者)／岩見吉朗(マンガ原作者)／山村浩二(アニメーション作家)／赤坂憲雄(民俗学者 P.11 参照)など

14—文化協力

主催……派遣10件(11カ国15都市)、招へい2件(4カ国12名)、

催し2件(2カ国2都市)

助成……派遣14件(派遣13カ国14都市)、招へい1件(1カ国)

日本が有する知見や専門性を活かして、各分野の専門家の派遣や招へいを通じて、各国における文化活動を支援しました。

●国立美術館所蔵日本関係美術品調査(アゼルバイジャン P.15 参照)／日本画等修復専門家招へい研修(モンゴル、ルーマニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ)など

15—市民青少年交流

主催……中学高校教員交流52名(12カ国)

助成……市民青少年交流事業61件

社会科、国際理解教育に携わる教員を招へいし、日本の教育、文化、社会の視察や関係者との意見公開を行う中学高校教員交流を行ったほか、市民や将来を担う青少年レベルの相互理解を深めるための事業に助成を行いました。

東アジア地域若手リーダー層招へい

21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS)事業の一環として、ASEANを中心とする東アジア地域の若手リーダー層を招へいし、東アジアにおける重要な共通課題について、日本の実例を共有しつつ活発な議論が行なわれました。

①「食料問題：21世紀型の農業の在り方」13カ国24名

②「環境：環境保全と地域再生」15カ国25名

③「教育：困難を乗り越える『しなやかな力』を育む取り組み」15カ国25名

16—日中交流センター

2011年度は「中国高校生長期招へい事業」として第六期生32名を招へい、また「ふれあいの場」が遼寧省大連市、浙江省杭州市に新たに開設されました。さらに「心連心ウェブサイト」上でも日中の若者の交流を促進しています。